10.31 狭山事件の再審を求める市民集会へ!!

狭山事件の再審開始を

万年筆は偽物だった。

証拠のねつ造が判明

インクが違う「万年筆」＝ねつ造された「重要証拠」

無実を示す疑惑の証拠

万年筆だけではありません

狭山事件の「証拠」には、数多くの疑惑が指摘されています。今回ねつ造が判明した「万年筆」だけでなく、自白と違う「殺害方法」、明らかに異なる「筆跡」、犯行時刻に犯行現場近くにいた人の証言など、有罪の根拠とされた証拠そのものが石川さんの無実を示しています。

脅迫状の筆跡は 99.9% 別人

石川さんは書いていない

えん罪 狭山事件

最新科学が無実を証明

コンピュータによる最新の筆跡鑑定によって脅迫状と石川一雄さんの筆跡が99.9%以上の確率で別人であることが明らかになりました。

3大物証すべてウソ

判決は完全に崩壊している

狭山事件の「証拠」には、数多くの疑惑が指摘されています。確定判決で有罪の有力な証拠とされてきた被害者の「万年筆」「カバン」「腕時計」の3大物証がすべて「ウソ」であることも明らかになっています。有罪の根拠とされた証拠そのものが石川さんの無実を示しています。

狭山事件は事件の発生から半世紀以上が経過しています。犯人とされた石川一雄さん（７９歳）は今も無実を訴え続けています。犯人の書いた脅迫状の筆跡が石川一雄さんと 99.9%以上の確率で別人であることを証明した新証拠が提出された今も、裁判所は１度の事実調べすらおこなっていません。私たちは狭山事件のすべての証拠の開示、証人尋問・事実調べ、再審開始を求めています。

石川一雄さんと早智子さん

狭山東京実行委員会

◉ 集会名称　えん罪・狭山事件 55 年
寺尾差別判決 44 ヵ年糾弾！

狭山事件の再審を求める市民集会

◉ 日 時　１０月３１日（水）
午後１時～２時３０分（終了後デモ行進）

◉ 会 場　日比谷野外音楽堂